

ふるさとのまちや学校をよりよくするために主体的に考え行動する決議（案）

「私たちの描く亀岡 未来に向けて」をテーマとして、本日開催された中学生議会に、私たちは、市内各中学校の代表としてここに集いました。代表になったきっかけや経緯は様々ですが、いずれの代表議員も、学校をよくしたい、安全で住みよいまちをつくりたい、中学生の視点で亀岡市政にしっかりと意見を述べたい、他の学校の意見や考えを学びたい、もっと自分が積極的に表現したり伝えあったりできる力をつけたいなど、強い参加意欲をもって、本日の質問に臨みました。

各校の質問内容は、社会科の授業や生徒会の活動などを通して、学校のたくさんの仲間によびかけ、声や思いを集めて練り上げたもので、それぞれが、大切な願いや提案でした。多くの学校で質問を選ぶきっかけとなったことの一つに、今年地震や豪雨、台風などの災害で自分たちのまちも多くの被害に見舞われたということがあります。あらためて、被害に遭われたみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに、完全な復旧・復興と、災害に強いまちづくりに努力されることを心から願うものです。そして、私たちにもできることがあれば積極的に関わっていききたいと思います。

質問に対する答弁を聞き、積極的に再質問し、自由討議では他の学校の質問事項や答弁に対しても、自分なりの意見をもって積極的に発言することができました。これらのやりとりを通して、私たちの学校やまちをよりよくする施策がどのようにして計画・実行されるのか、そのお金はどのように集められ使われるのかを理解することができました。また、市民から預かった税金をどのように使うのか計画・実行する市長と、その計画や執行を市民のためにしっかりとチェックする議会が、二代表制としてどちらも大切な役割を果たしており、それぞれを選挙で選ぶ有権者の投票はとても大事であることも再認識しました。残念ながら現在において選挙の投票率は低迷を続けています。私たちは自分が選挙権を持った時に、これらのことをふまえて必ず政治に参加する権利を行使するよう、私たちの世代にも訴えていきます。

このような貴重な学びの場となった中学生議会を、今後も続けていただき、様々な形で、中学生が亀岡のまちづくりや政治に関心を持てる場に参加できるよう努力していただくことを心から望みます。また、中学生から見た、学校やふるさとの良さを、亀岡市が今後も守り発展させていただくことを求めます。

私たちは以下の点で今後も積極的に努力することを表明します。

- 一、これからも、自分たちの学校やまちの良さを大切にして、よりよいものにしようと積極的に考え、行動します。
- 一、市民が納める税金が市民のためにどう使われるのか、どのようにチェックされるのかなど、市政に関心を持ち、自分なりの考えを持って、18歳になれば、それぞれの代表者を選ぶ有権者としての権利を必ず行使します。
- 一、本日の経験を各中学校に持ち帰り、みんなが同じ思いで、よりよい学校づくり、住みよいまちづくり、亀岡市政など政治への関心や参加意欲をもつことができるよう、しっかりと伝えていきます。

以上、決議します。

平成30年10月27日
亀岡市議会中学生議会